

ADVENTURE

～日本初のグローバルOTAへ～

2021年6月期第1四半期

決算説明資料（修正版）

株式会社アドベンチャー

（証券コード：6030）

skyticket

1. ハイライト	3	11. 子会社の状況	26
2. 1Qの主な出来事	4	12. 業績推移	31
3. 1Q単独のPL・BS（連結）	5	13. その他	33
4. 第1四半期会社別PL・BS	7		
5. 第1四半期セグメント別PL	9		
6. 単体コンシューマ事業内訳	10		
7. 今期の予定	11		
8. アプリDL数とアプリ比率	12		
9. 主要サービス推移	13		
10. 各種KPI推移	23		

新型コロナウイルス感染症の影響

- ・ 国内航空券取扱高…前年1Q比較35%
- ・ 海外航空券取扱高…前年1Q比較 2%

➡減収減益の中でも黒字をキープ

GoToトラベルキャンペーンの影響

- ・ 東京除外解除の10月以降から取扱高増加

➡2Q以降の収益に期待

2. 1Qの主な出来事

日付	ニュース
2020/7/8	WILLERの予約システム『WILL』とAPI連携による高速バス『WILLER EXPRESS』の予約・販売を開始
2020/7/28	GoToトラベル事業対象となる旅行代金割引商品表示を開始
2020/8/18	アメリカン航空と航空券の新流通規格“NDC”での販売を開始
2020/8/21	国内ツアー予約にて 自社造成商品の販売を開始し、GoToトラベルキャンペーンの支援対象が旅行代金全額まで拡大
2020/9/1	キャッシュレス決済「PayPay」を導入し、「またまたオンラインがお得！10%戻ってくるキャンペーン」「ペイペイジャンボ（オンライン）」に参加
2020/9/11	「skyticket」アプリが、約90日で100万ダウンロードを伸ばし、iOS・Androidで累計1,500万ダウンロードを達成

3. 第1四半期BS・PL

①第1四半期BS

子会社売却等によりのれんと有利子負債が減少（前4Q 98億円⇒当1Q 60億円）
自己資本比率は15%に改善

（単位：百万円）

	2020 4Q	2021 1Q	増減（率）
流動資産	11,888	8,084	▲3,803（ 68%）
現金および現金同等物	6,998	3,875	▲3,122（ 55%）
非流動資産	5,020	3,392	▲1,627（ 68%）
のれん	1,818	1,137	▲680（ 63%）
資産合計	16,908	11,477	▲5,431（ 68%）
流動負債	11,810	7,194	▲4,615（ 61%）
非流動負債	3,621	2,558	▲1,062（ 71%）
負債合計	15,432	9,753	▲5,678（ 63%）
資本合計	1,476	1,723	247（117%）
負債及び資本合計	16,908	11,477	▲5,431（ 68%）

3. 第1四半期BS・PL

②第1四半期PL

売却済、清算済の子会社は非継続事業としてPLから除外

(単位：百万円)

	2020 1Q	2021 1Q	増減 (率)
収益	11,081	7,557	▲3,524 (68%)
営業総利益	3,814	1,703	▲2,110 (45%)
販管費及び一般管理費	3,395	1,552	▲1,842 (46%)
うち広告宣伝費	2,324	811	▲1,512 (35%)
営業利益	419	239	▲179 (57%)
四半期利益	163	261	97 (160%)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	176	267	90 (151%)

4. 第1四半期会社別BS・PL

有利子負債を削減

2021年6月期1Q

(単位：百万円)

	当社	コスミック 流通	コスミック GC	ラド観光	EDIST	TET	その他 (連結調整等)	合計
資産合計 (対前4Q比)	8,370 (89%)	1,908 (89%)	200 (86%)	974 (109%)	87 (93%)	209 (76%)	▲272 (▲7%)	11,447 (68%)
負債合計 (対前4Q比)	7,028 (86%)	1,655 (87%)	194 (80%)	759 (113%)	91 (100%)	123 (65%)	▲99 (▲2%)	9,753 (63%)
内有利子負債 (対前4Q比)	4,732 (98%)	1,550 (89%)	170 (100%)	251 (140%)	64 (92%)	- (-)	▲714 (▲26%)	6,054 (62%)
純資産 (対前4Q比)	1,342 (106%)	250 (103%)	6 (▲69%)	215 (96%)	▲4 (▲174%)	85 (103%)	▲172 (41%)	1,723 (124%)

4. 第1四半期会社別BS・PL

単体・連結共に黒字をキープ

2021年6月期1Q

(単位：百万円)

	当社	コスミック 流通	コスミック GC	ラド観光	EDIST	TET	その他 (連結調整含)	合計
収益	1,402 (41%)	4,918 (78%)	2,475 (150%)	174 (20%)	82 (84%)	4 (20%)	▲1,500 (-)	7,557 (68%)
営業利益	154 (38%)	▲0 (-)	18 (-)	▲41 (-)	▲6 (-)	2 (30%)	112 (-)	239 (57%)

2020年6月期1Q

(単位：百万円)

	当社	コスミック 流通	コスミック GC	ラド観光	EDIST	TET	その他 (連結調整含)	合計
収益	3,415	6,277	1,645	886	98	20	▲1,263	11,081
営業利益	400	49	▲3	▲3	▲25	18	▲19	419

※非継続事業を除いた数値に組替え

5. 第1四半期セグメント別PL

コンシューマー事業、投資事業共に利益計上

(単位：百万円)

	コンシューマー事業		投資事業		調整		合計	
	前期1Q	今期1Q (前期比)	前期1Q	今期1Q (前期比)	前期1Q	今期1Q (前期比)	前期1Q	今期1Q (前期比)
収益	11,098	7,533 (68%)	▲17	23 (-)	-	-	11,081	7,557 (68%)
営業総利益	3,831	1,680 (44%)	▲17	23 (-)	-	-	3,814	1,703 (45%)
販管費及び一般管理費	3,390	1,552 (43%)	4	- (-)	-	-	3,394	1,464 (43%)
うち広告宣伝費	2,324	811 (35%)	-	- (-)	-	-	2,324	811 (35%)
営業利益	441	216 (49%)	▲21	23 (-)	-	-	419	239 (47%)

※前期1Qは非継続事業を除いた数値に組替え

6. 単体コンシューマ事業内訳

取扱高と比較しても、収益は減少していない

2021年6月期1Q

(単位：百万円)

	国内 航空券	海外 航空券	ホテル	レンタカー	ツアー	その他	合計
取扱高	5,298 (31%)	-240 (-)	188 (50%)	54 (54%)	71 (-)	40 (44%)	5,412 (24%)
収益	1,263 (46%)	28 (6%)	14 (53%)	54 (54%)	6 (-)	35 (48%)	1,402 (41%)

2020年6月期1Q

(単位：百万円)

	国内 航空券	海外 航空券	ホテル	レンタカー	ツアー	その他	合計
取扱高	17,321	4,850	378	99	0	92	22,741
収益	2,765	449	27	99	0	73	3,415

※ツアー収益は連結上グロスで計上（取扱高＝収益）

利益体質の強化

アプリ比率の向上による広告宣伝費の効率化

→ **1,700万ダウンロード**

主要航空券以外のクロスセルによる客単価の増加

→ **バス、レンタカー、ホテル、DP、空港送迎**

営業人員大量採用により早急に全国のホテルに営業ができる体制を構築

→ **宿泊施設の直接契約数の増加**

顧客利便性の向上によるリピート率改善

→ **ポイント制度、会員ステータス等の導入**

財務体質の強化

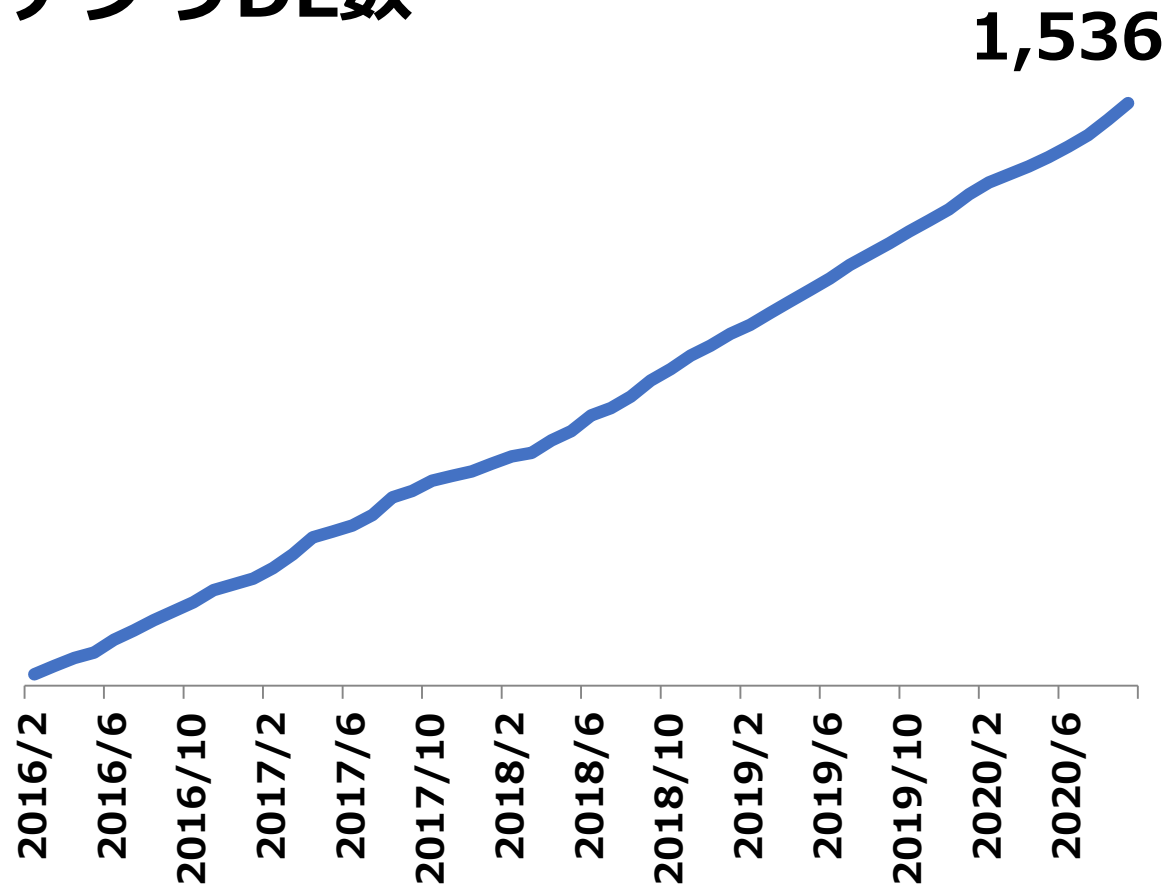
今期の利益拡大、有利子負債の圧縮等により自己資本比率の改善

→ **自己資本比率20%を目標**

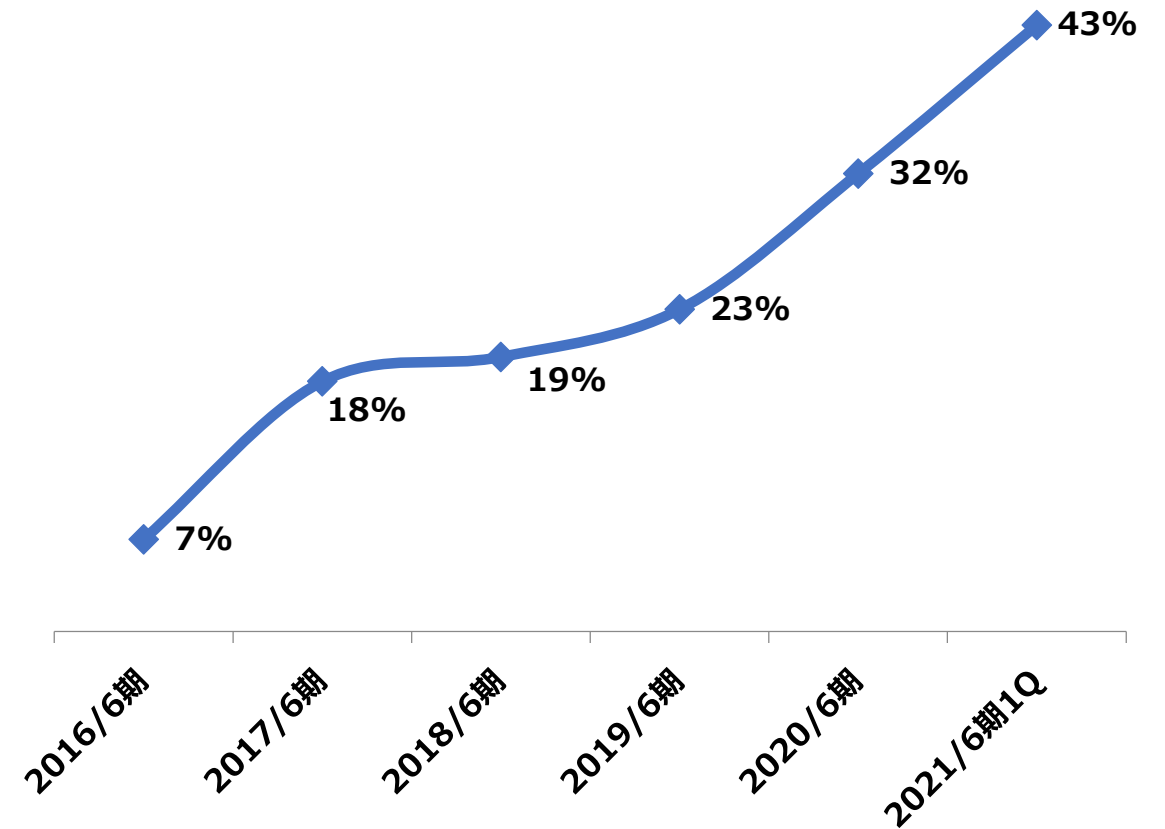
8. アプリDL数とアプリ比率推移

アプリの伸びが好調

アプリDL数



国内線アプリ申込比率



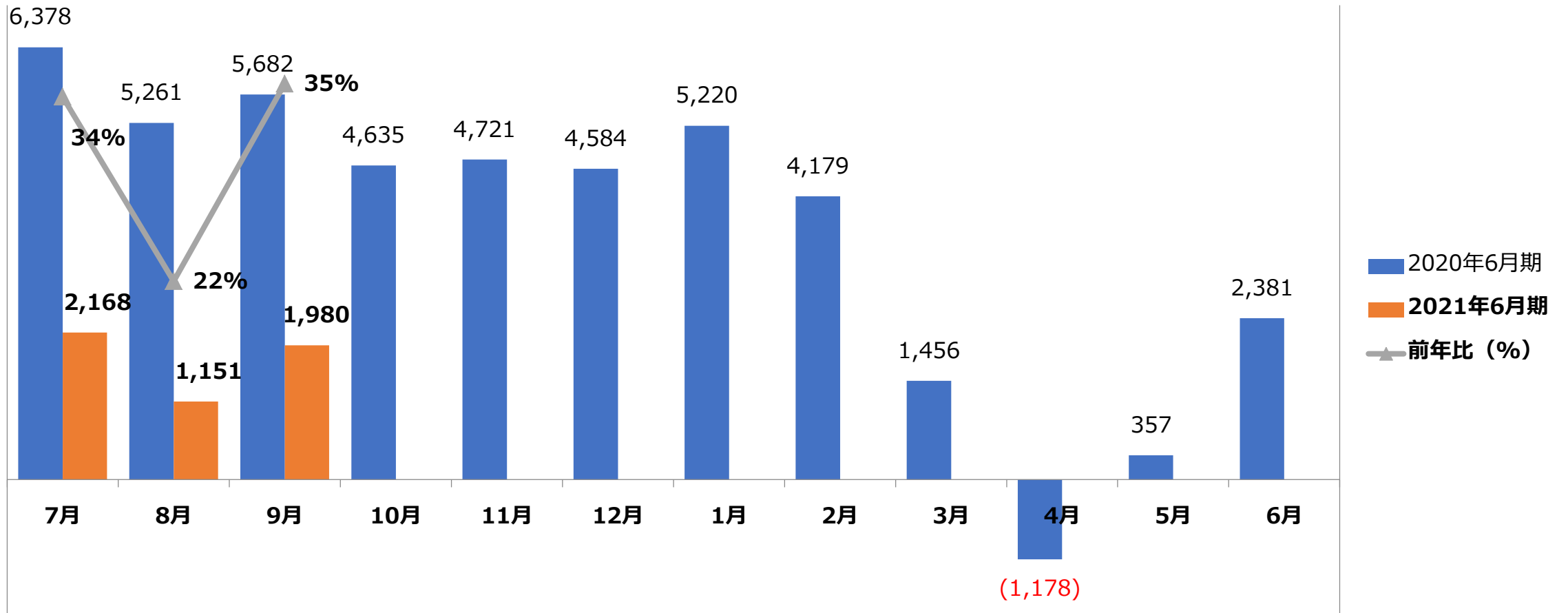
※国内航空券のアプリ経由での申込件数比率

9. 主要サービス推移

①国内航空券取扱高

緊急事態宣言解除後はコロナ感染者数に応じて推移

(単位：百万円)

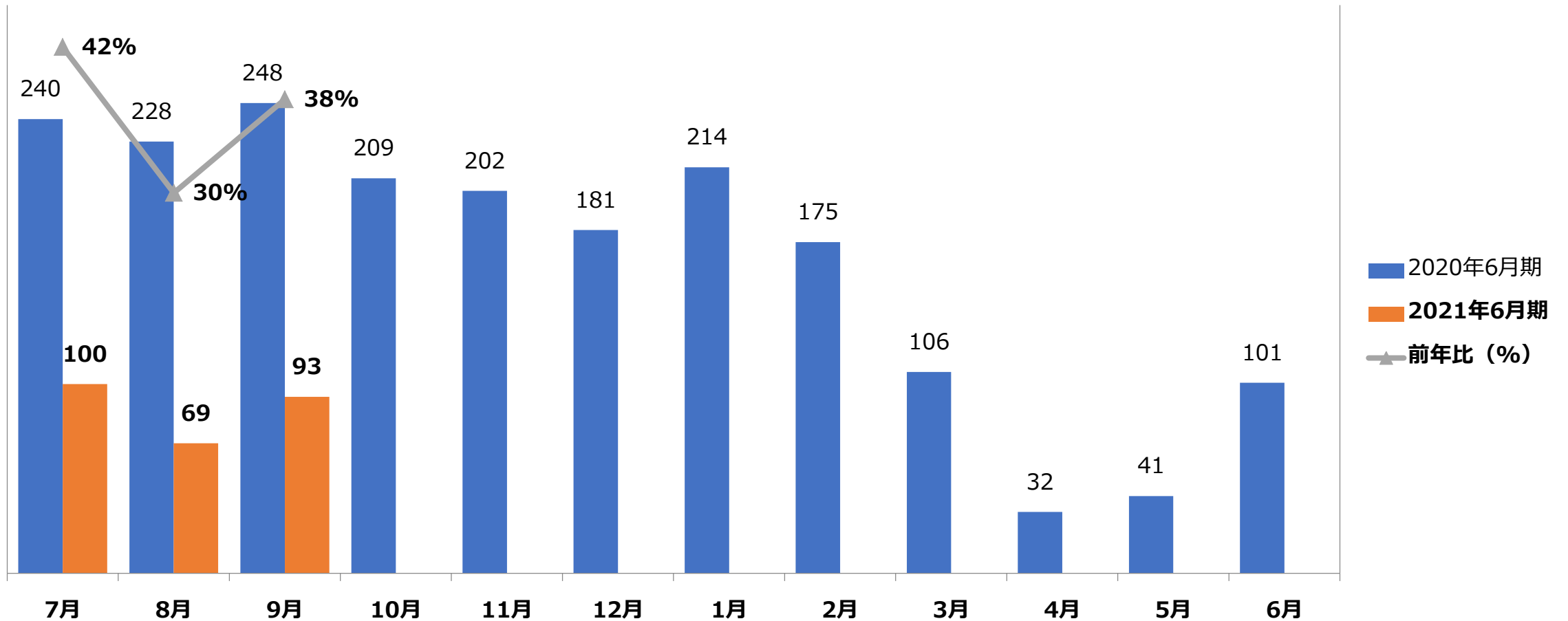


9. 主要サービス推移

②国内航空券申込件数

前年比30%程度で推移

(単位：千件)

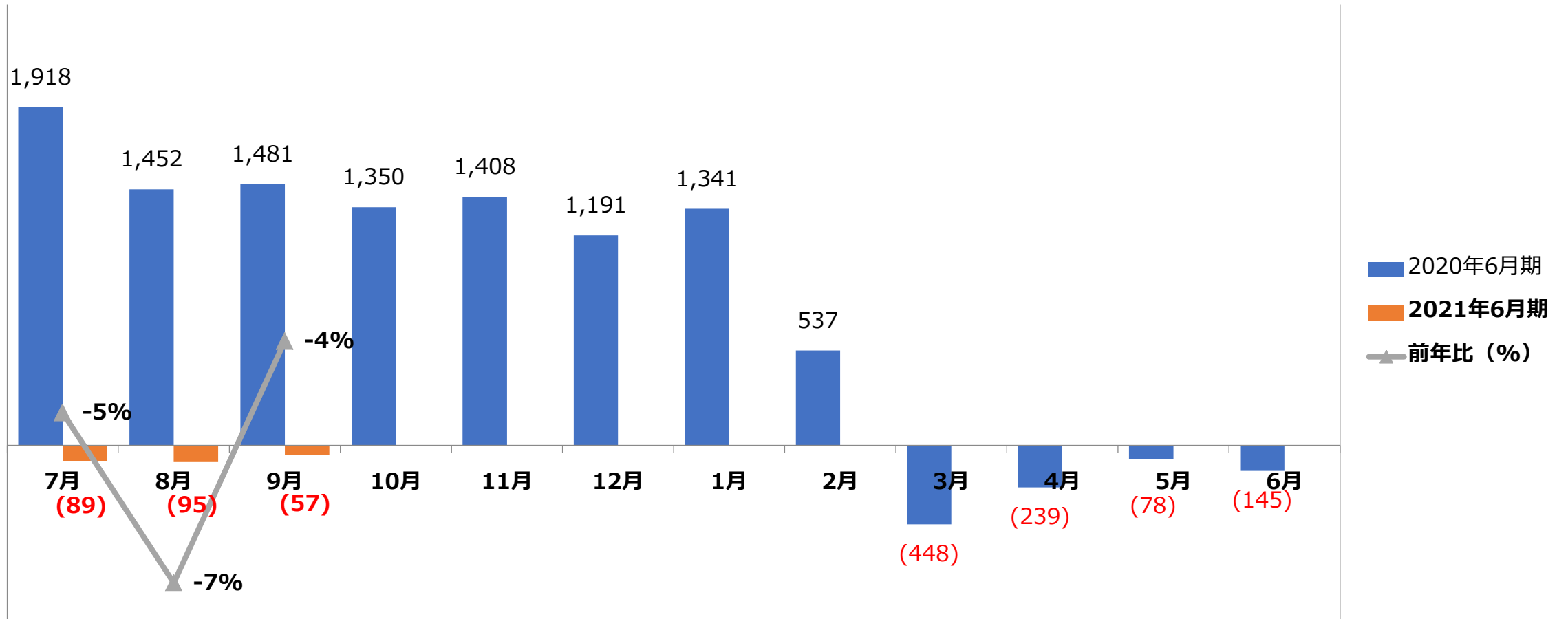


9. 主要サービス推移

③海外航空券取扱高

海外渡航が難しく、申込よりキャンセルが多い状況

(単位：百万円)

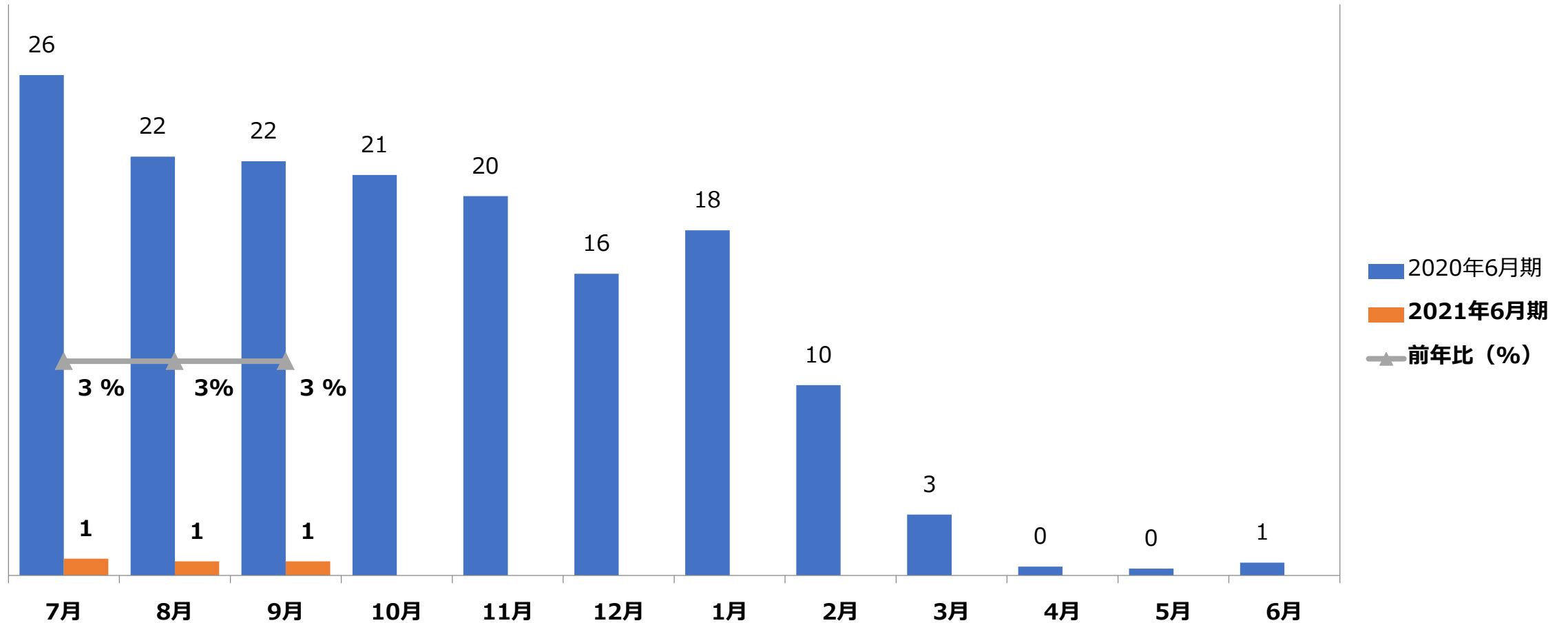


9. 主要サービス推移

④海外航空券申込件数

申込件数は前年比3%で推移

(単位：千件)

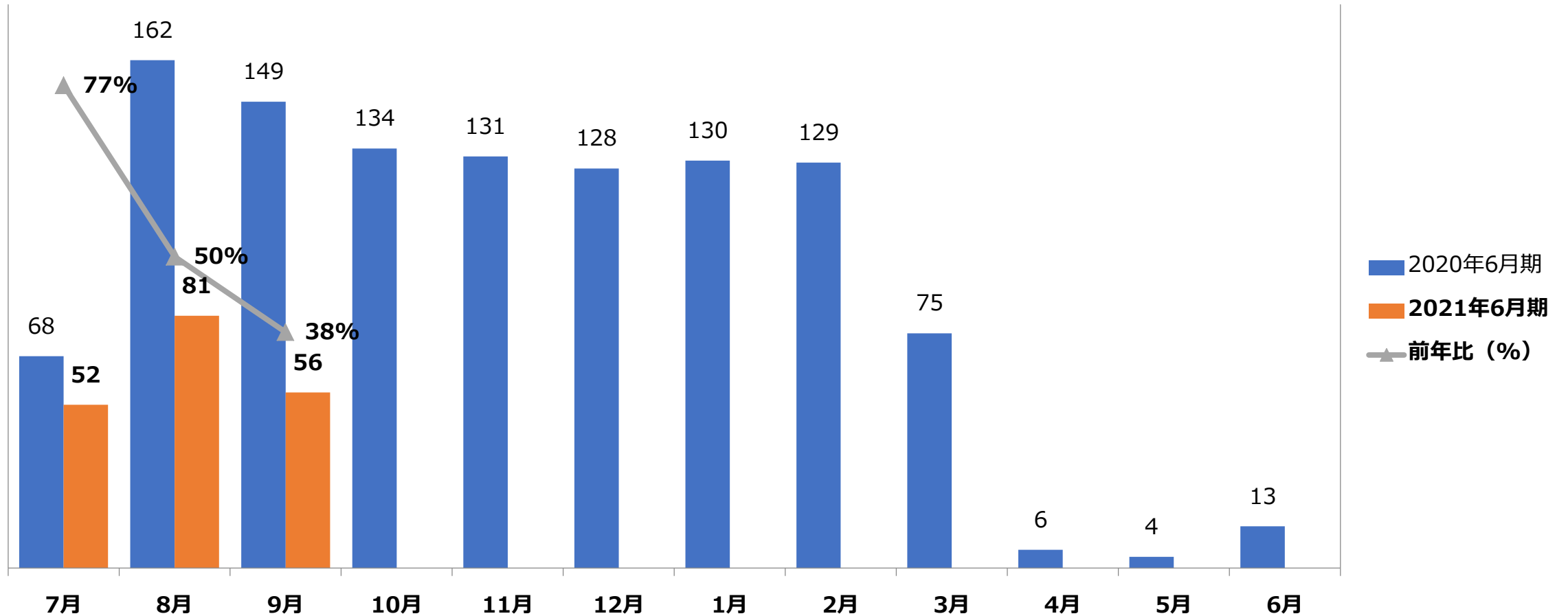


9. 主要サービス推移

⑤ホテル取扱高

ホテル単体としては減少傾向だが、9月からツアーへシフト

(単位：百万円)

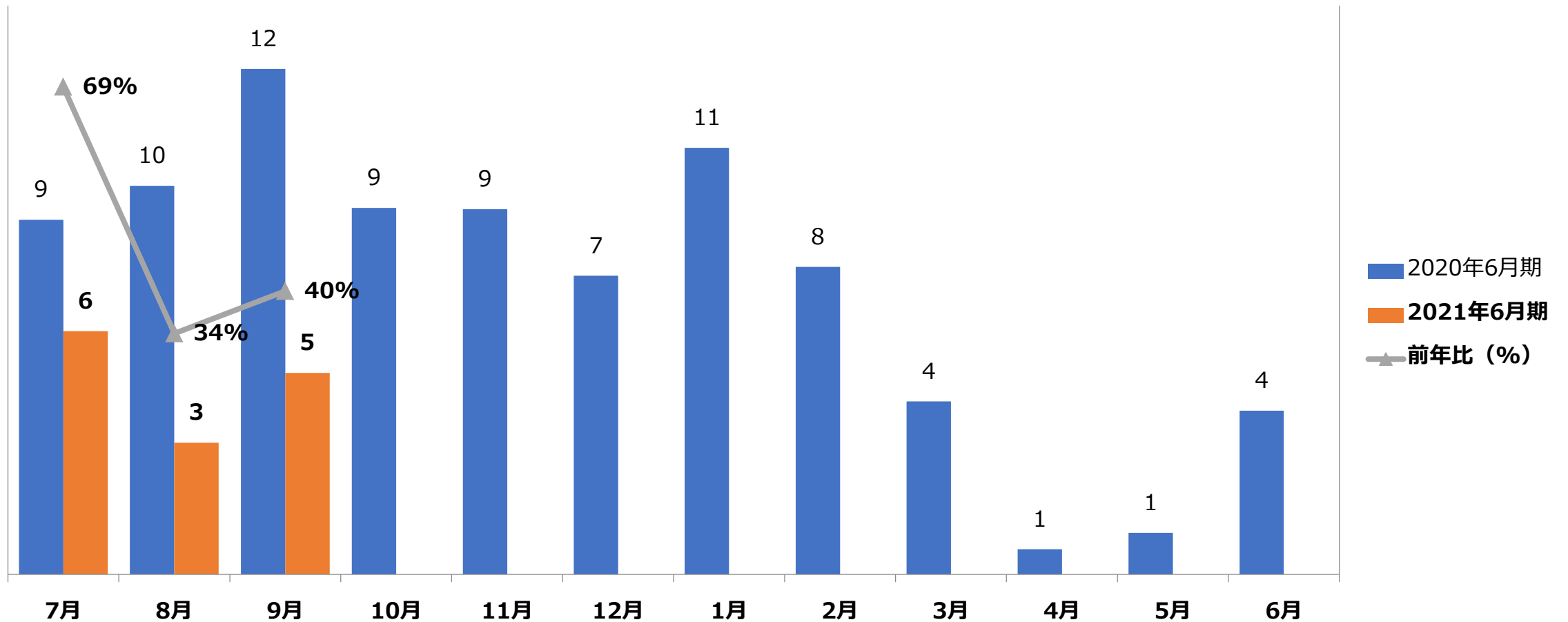


9. 主要サービス推移

⑥ホテル申込件数

9月から申込が増加傾向、GoTo東京除外解除後の10月から本格化

(単位：千件)

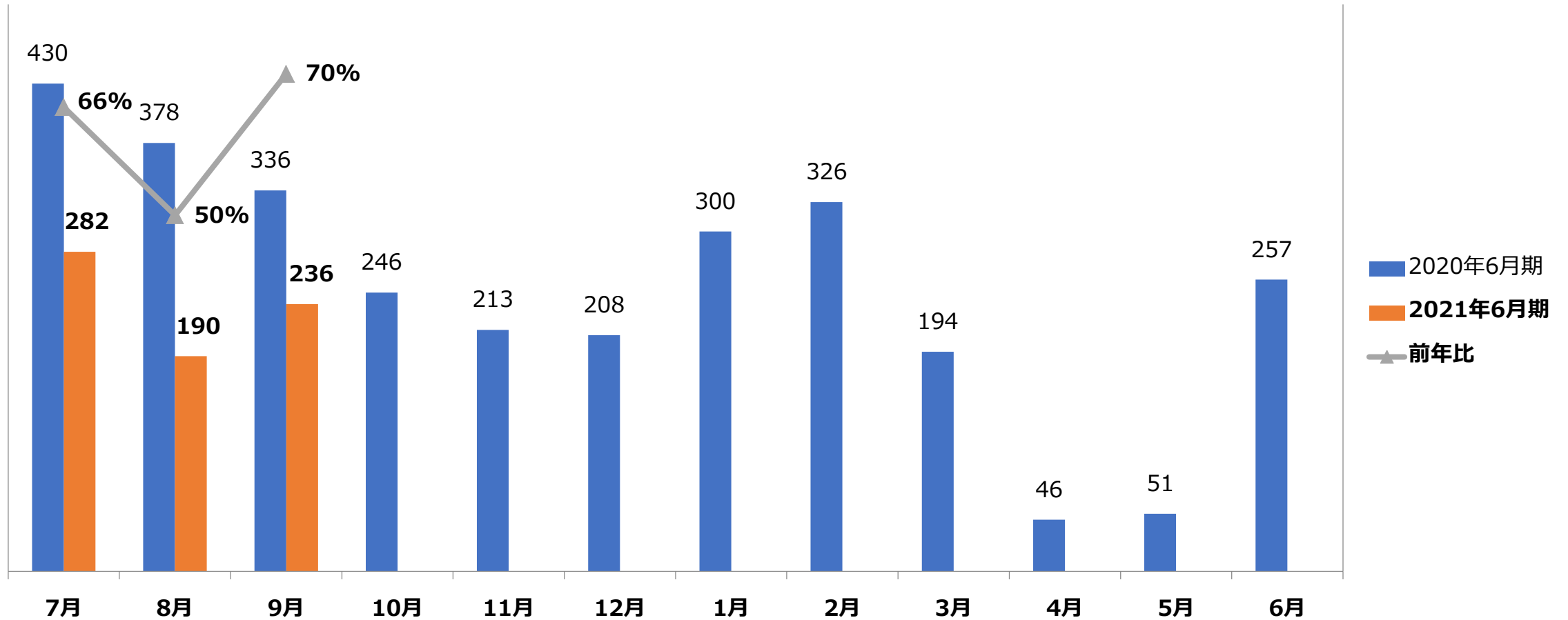


9. 主要サービス推移

⑦ レンタカー gross 取扱高

GoToの影響により9月から前年比率としては上昇傾向

(単位：百万円)

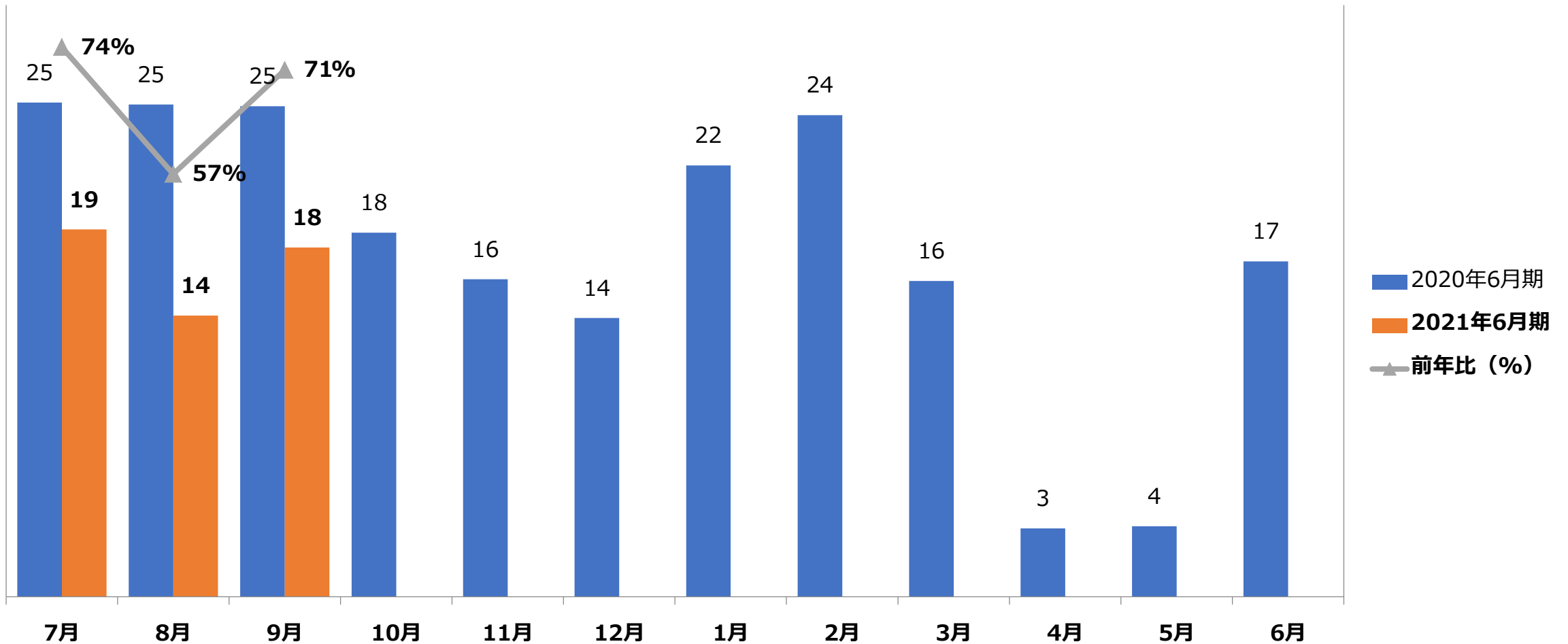


9. 主要サービス推移

⑧ レンタカー申込件数

コロナ禍にもかかわらず前年比70%超を達成

(単位：千件)

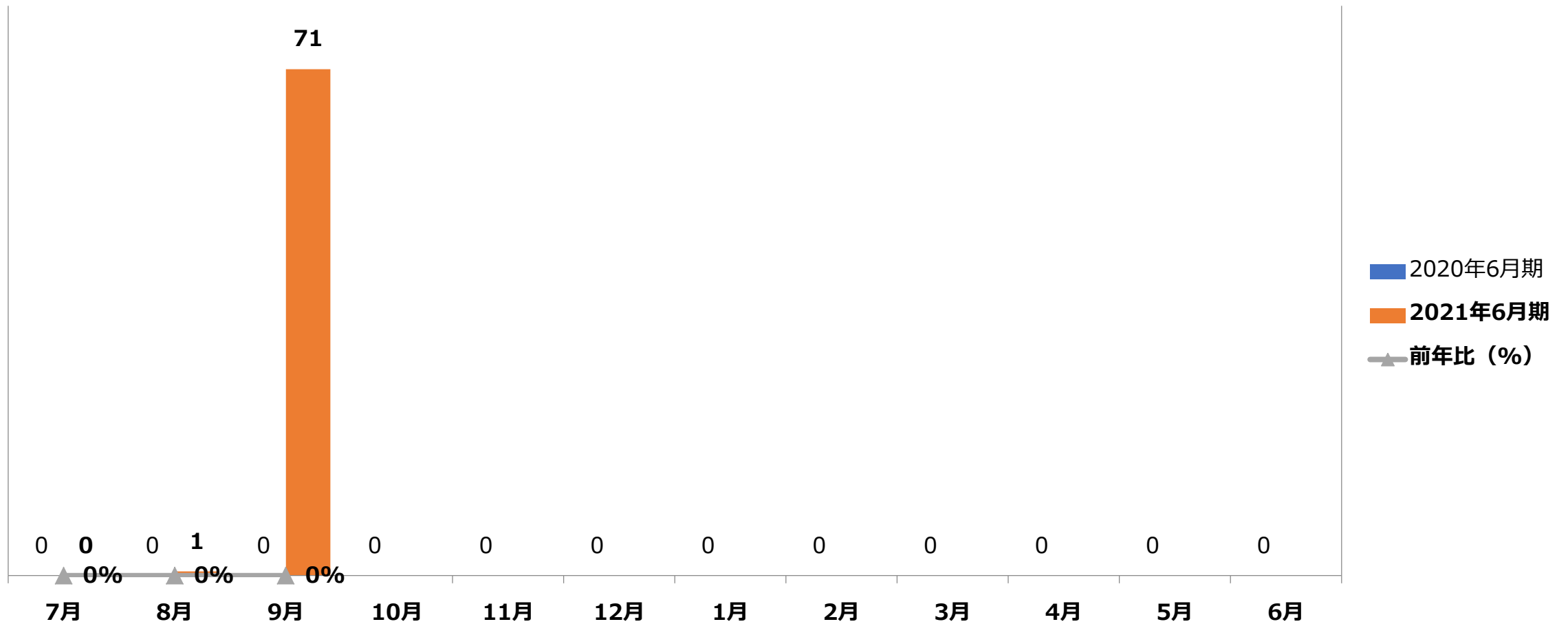


9. 主要サービス推移

⑨ ツアー取扱高

新サービスのツアー取扱を開始

(単位：百万円)

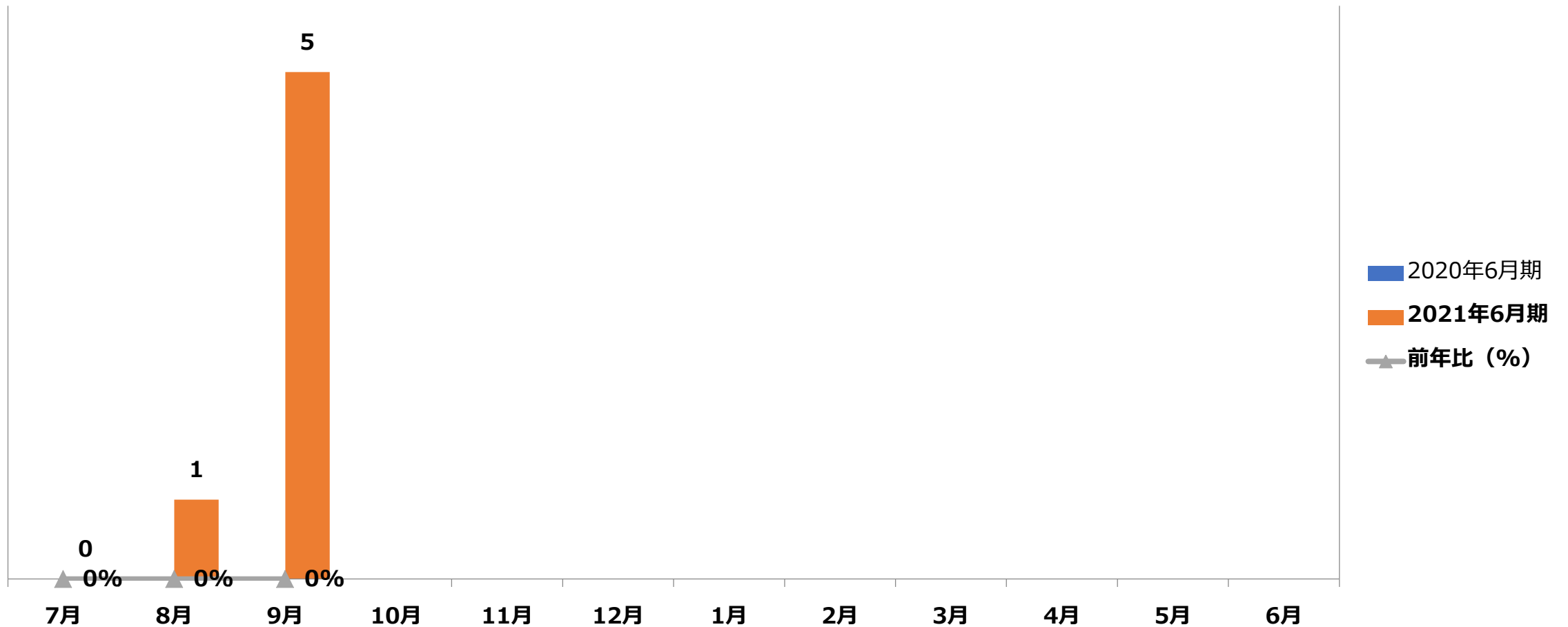


9. 主要サービス推移

⑩ ツアー申込件数

GoToにより増加傾向が続く見込み

(単位：千件)

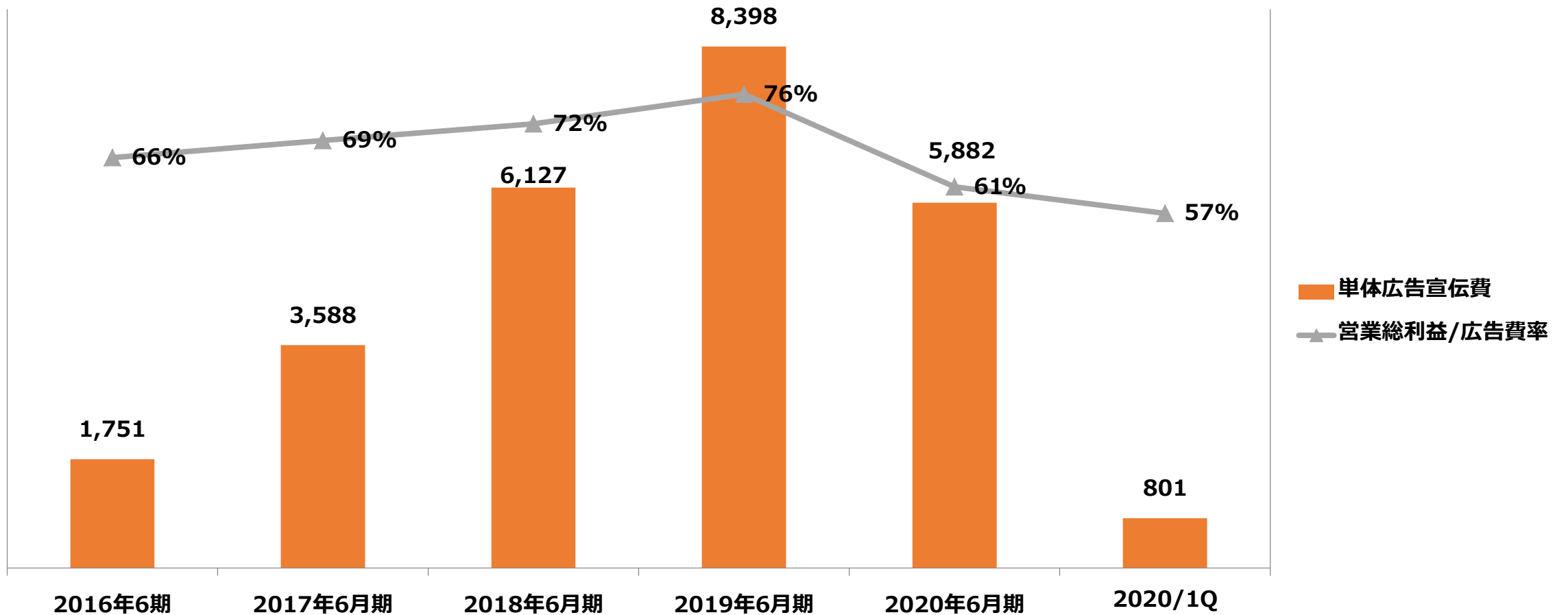


10. 各種KPI推移

① 単体広告費推移

広告効率化、アプリシフト等により広告比率が減少

(単位：百万円)

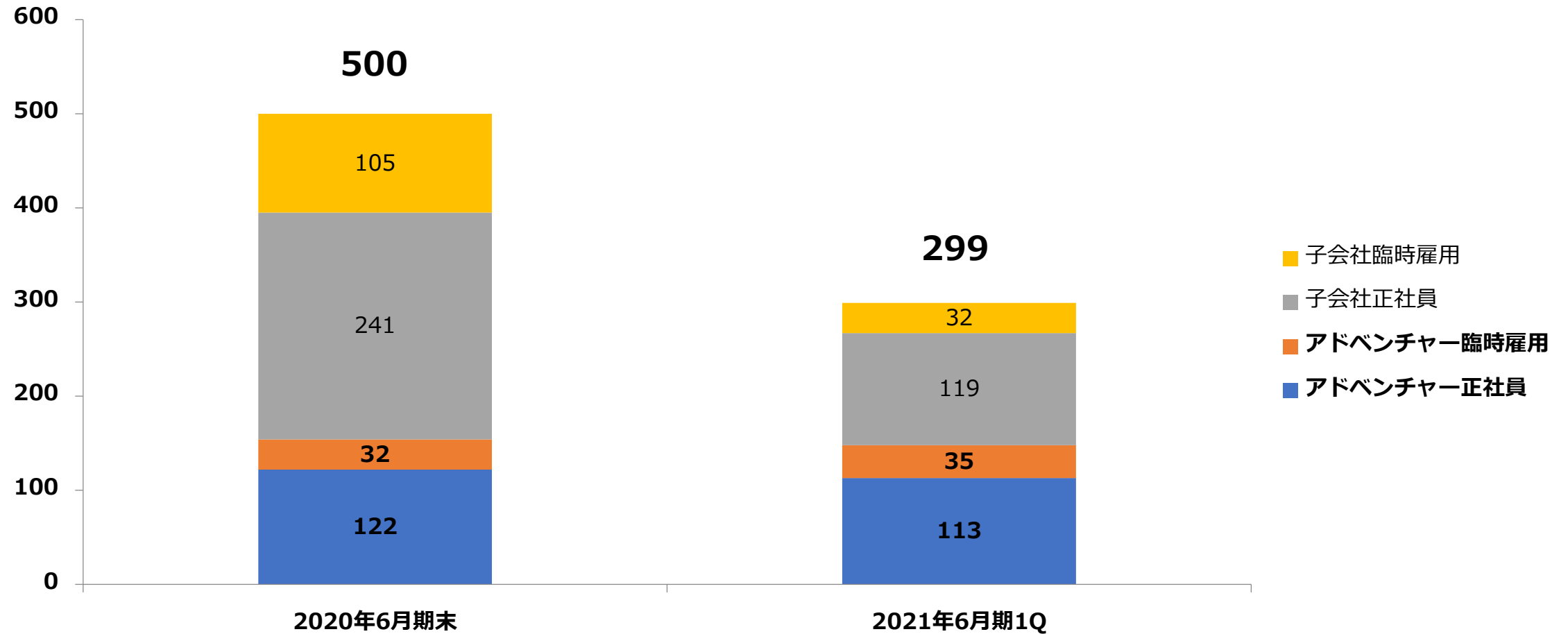


10. 各種KPI推移

② 人員推移

子会社売却によりグループ全体の人員が減少

(単位：人)

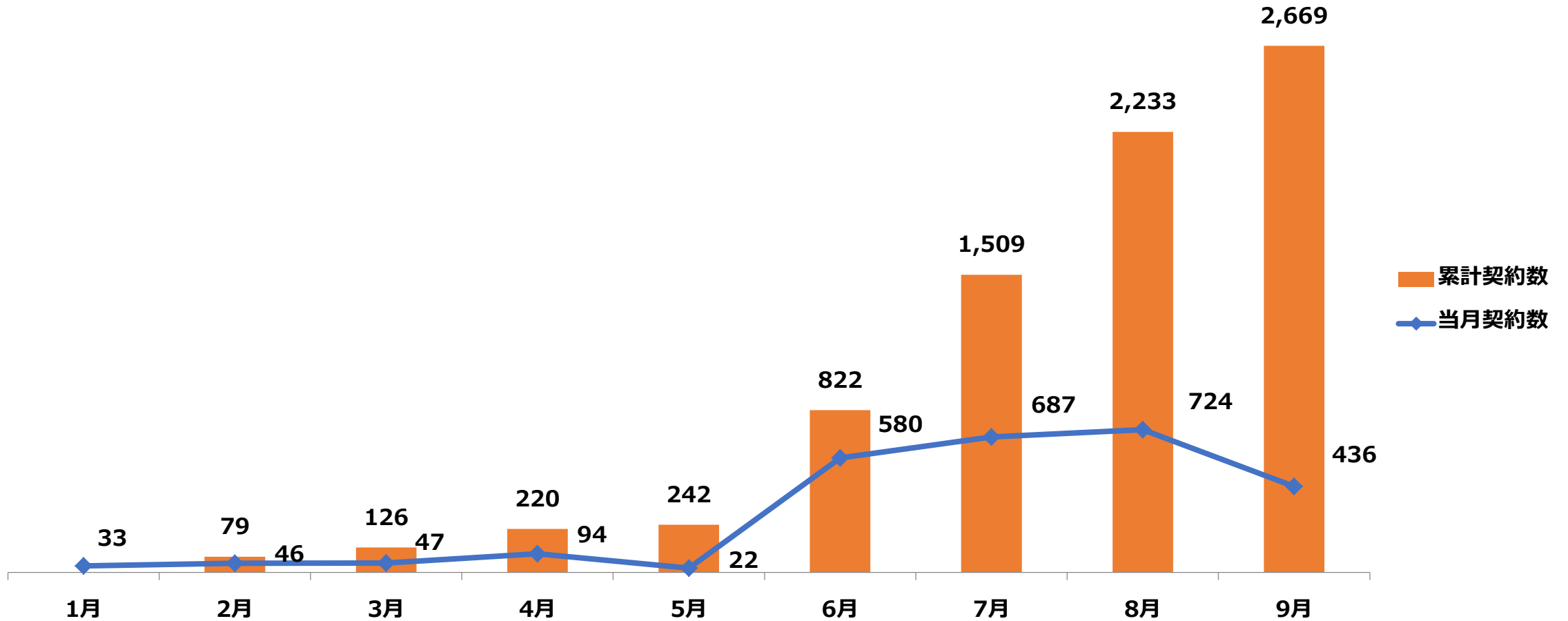


10. 各種KPI推移

③ホテル契約施設数推移

ホテル営業人員増強により契約施設数が増加

(単位：施設)



11. 子会社の状況

①子会社の概要

旅行系

ADVENTURE

(株)アドベンチャー

100%



TET(株)

2018/6取得
・航空券の発券/仕入
JAL認可代理店

今期1Q

売上：4百万円
営業利益：2百万円

前期1Q

売上：20百万円
営業利益：18百万円

100%



ラド観光(株)

2019/1取得
・ツアー企画/販売

今期1Q

売上：174百万円
営業利益：▲41百万円

前期1Q

売上：886百万円
営業利益：▲3百万円

100%



コスミック流通産業(株)

2018/2取得
・チケット二次流通/両替事業
株主優待券で取引あり

今期1Q

売上：4,918百万円
営業利益：▲0百万円

前期1Q

売上：6,277百万円
営業利益：49百万円

100%



コスミックGCシステム(株)

2018/2取得
・ギフト券販売

今期1Q

売上：2,475百万円
営業利益：18百万円

前期1Q

売上：1,645百万円
営業利益：▲3百万円

100%



(株)EDIST

2018/12事業譲受
・衣料品等のレンタル業
→事業の選択と集中
により売却予定

今期1Q

売上：82百万円
営業利益：▲6百万円

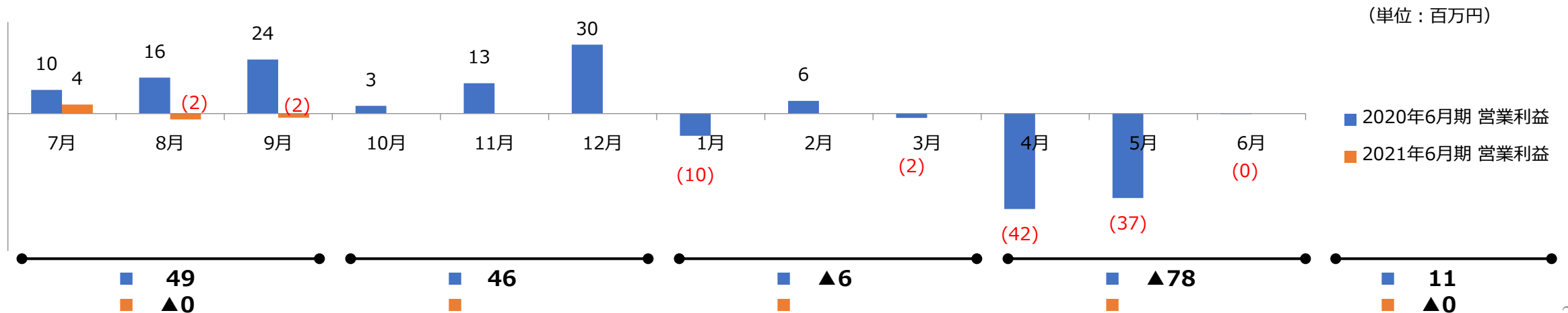
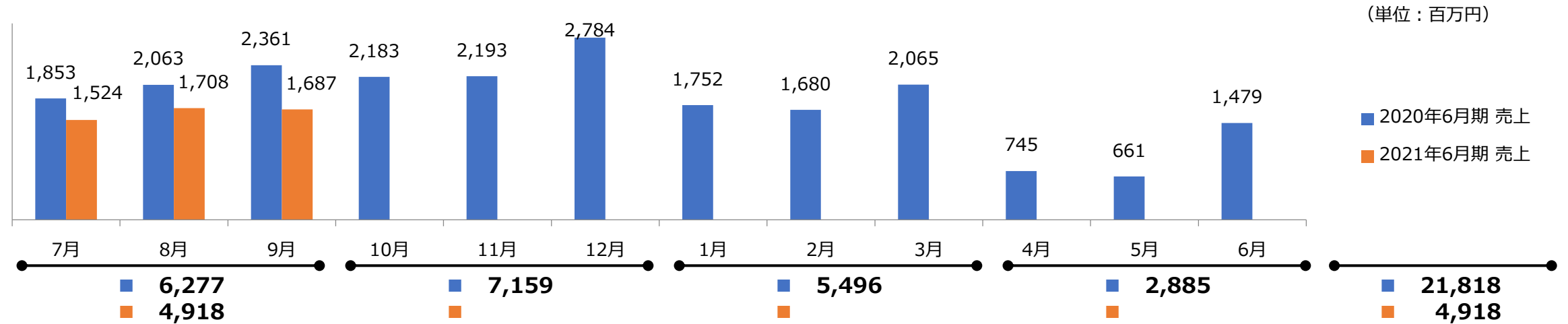
前期1Q

売上：98百万円
営業利益：▲25百万円

11. 子会社の状況

② コスミック流通_実績

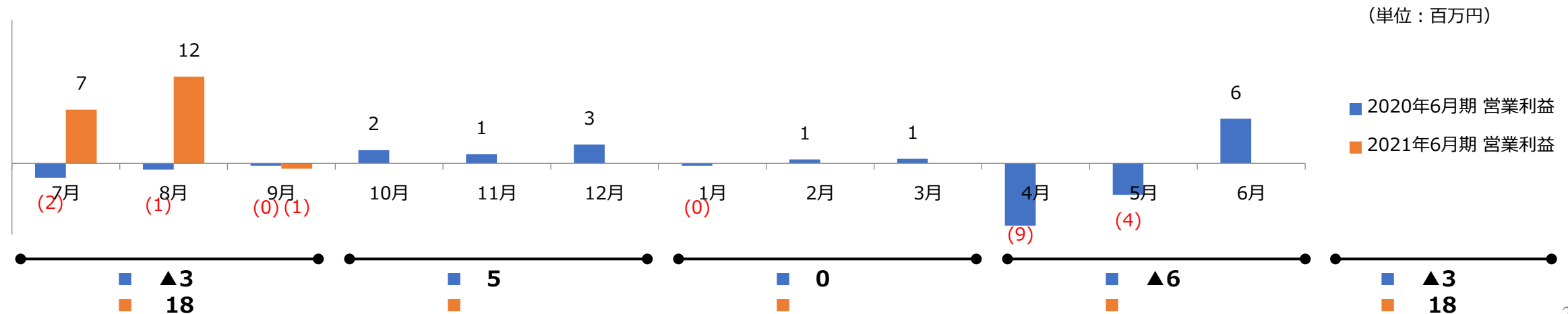
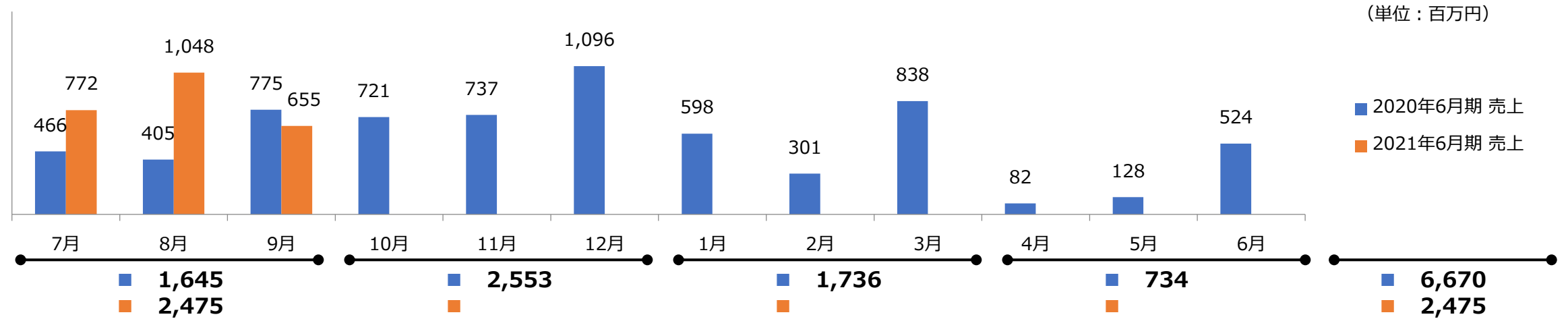
緊急事態宣言解除後は売上が上昇傾向



11. 子会社の状況

③ コスミックGC_実績

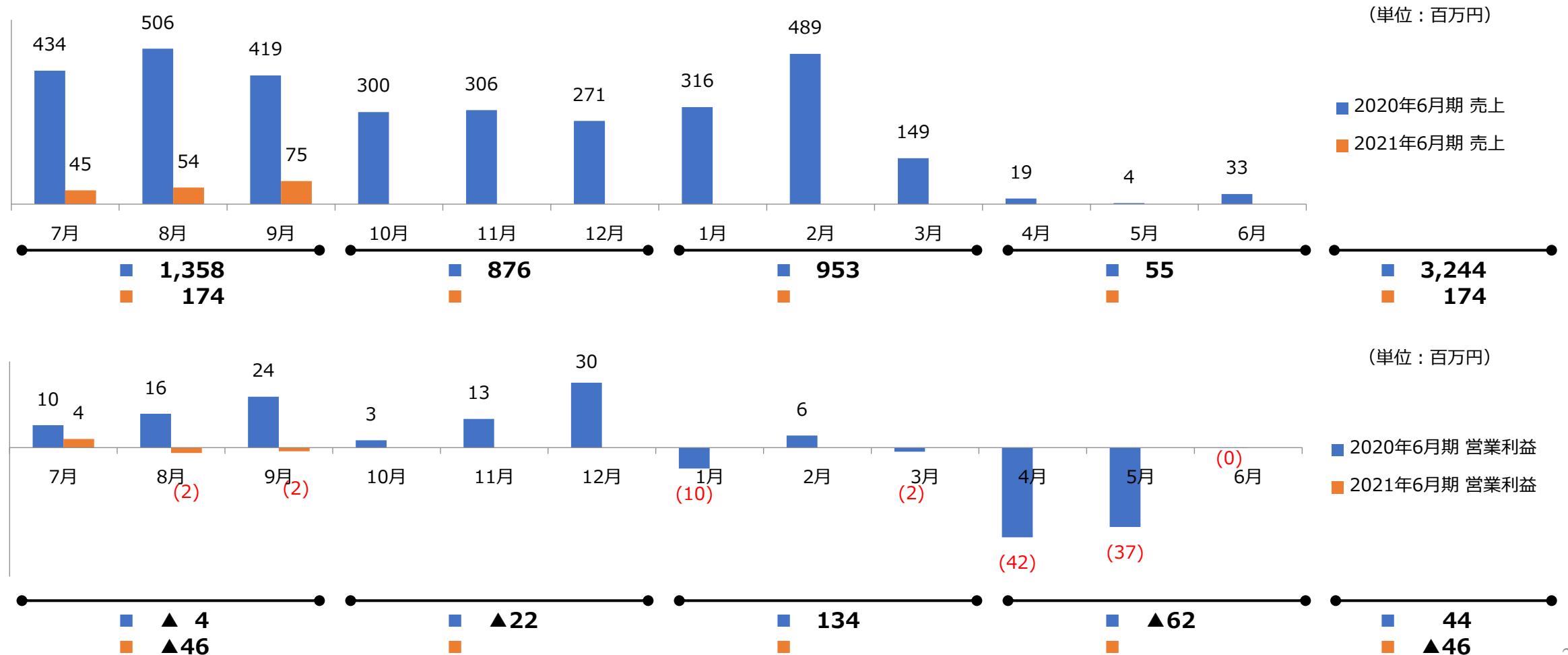
商品券等の売上が好調で、利益と共に増加



11. 子会社の状況

④ラド観光_実績

売上減少がみられるが、コスト圧縮により利益への影響を最小化



11. 子会社の状況

⑤子会社の現状と今後の展望

カテゴリー	会社	状況
設備投資	各社	今期はコロナの影響もあり、設備投資及び採用は現状では計画していない
売上	流通	来店顧客数は減少傾向だが、オンラインでの取引が前期比150%と好調
	GC	経済的な不安により商品券等の需要が増加
	その他	コロナの影響により売上が減少
利益	流通	一部店舗で家賃減額、不採算店舗閉鎖委によるコスト削減
	その他	コロナ禍でも大幅な赤字は現時点では見込まれない
その他	EDIST	引続き売却予定

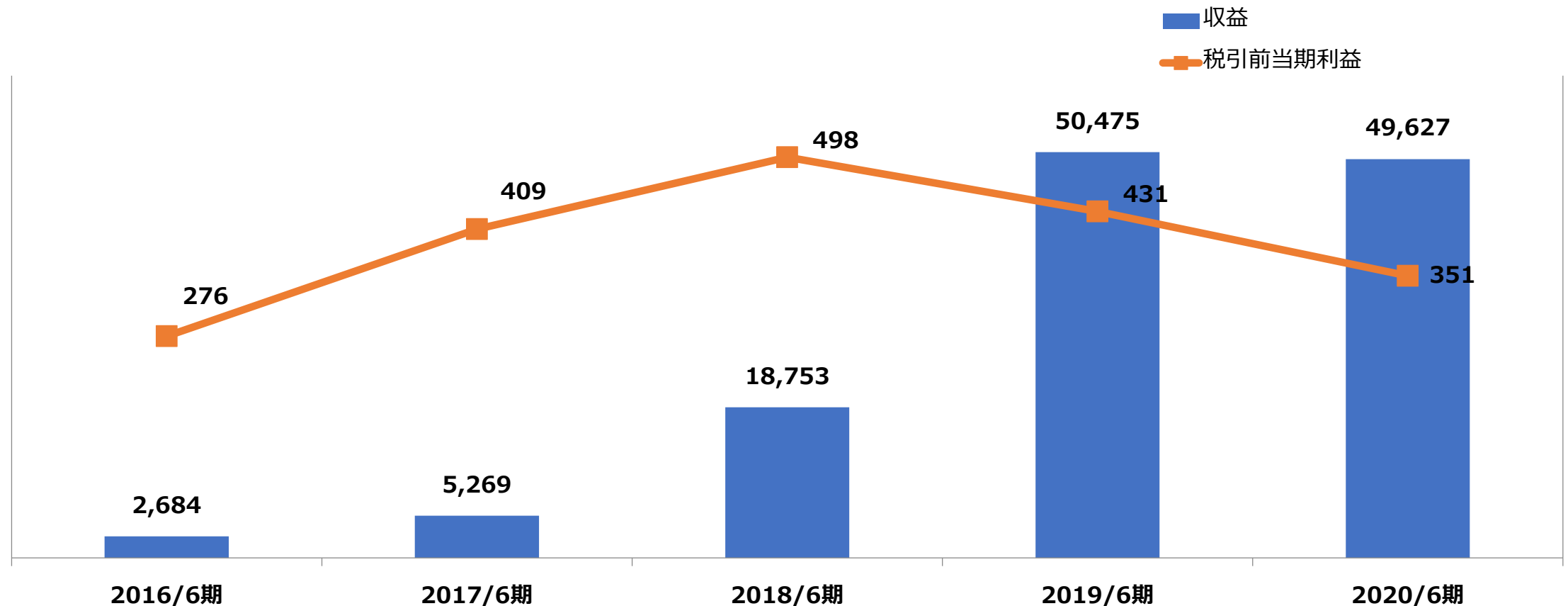
12. 業績推移

①過去の業績推移

2019/6期：M&Aにより増収

2020/6期：コロナの影響により減収

(単位：百万円)

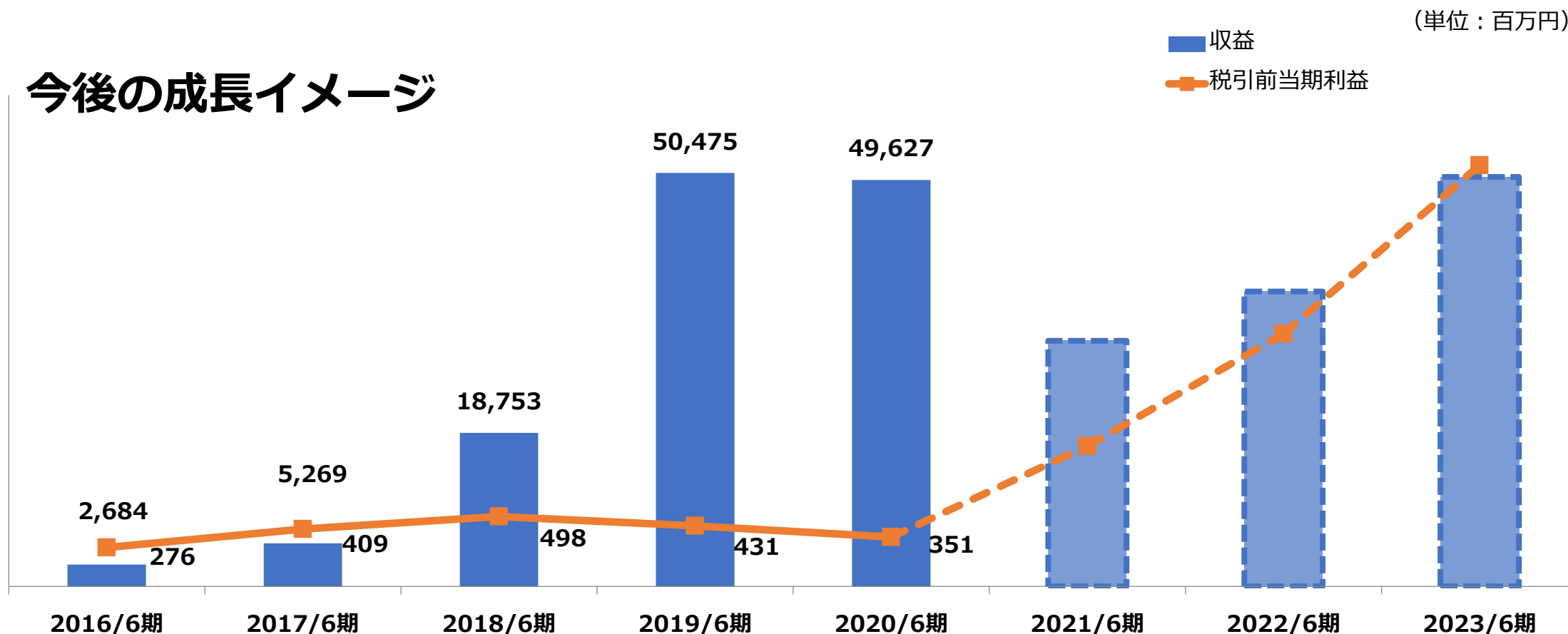


※2016年6月期、2017年6月期は日本基準の営業収益と経常利益を記載

12. 業績推移

②今後の業績目標

子会社売却等により減収が見込まれるが、増益を目指す



※2016年6月期、2017年6月期は日本基準の営業収益と経常利益を記載

13. その他

①投資事業、M&A戦略

基本方針

旅行関連領域以外は積極的な検討はしない

(旅行関連領域でシナジー効果が期待できる場合は検討)

→アフターコロナに向けた旅行関連領域への投資

- : 国内旅行のサービス拡充
- : 旅行関連の新サービス展開
- : 海外展開等

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。